

△新人紹介△
別院列座大山龍慈氏



三月に大谷大
学真宗学科を卒
業し、社会人と
しての責任を果
たさなければい
けない立場にな
り、不安もあり
ます。

三か月がたち、少しずつ生活
のリズムにも慣れはじめ、自分
が何をしなければならぬのか
を考える余裕も生まれています。
法務・会計・事務等の仕事に携
わる中、初めて経験することば
かりで、戸惑いを感じることも
多々あります。当院で勤務させ
ていただく中で、一人前の僧侶
になりたいと思います。

しかし、「一人前とはいった
いなんだ」と教師修練で問われ
ました。私は漠然と「ある程度
説明ができ、教学を学んでいる
僧侶のこと」ということしか考
えていませんでした。

先生の問いに答えがあるのか
わかりませんが、自分の課題と
しながら御門徒の方々、京都教
区の皆様と関わっていきたく思
います。

△はちす会△

「仏花の心得を知ってほしい」
と、当院前輪番澤田秀丸氏によ
り創設されたこの会は、近郊の
坊守さんを主として開催され、
開催場所が持ち回りで変えられ
ていたが、このたび岡崎別院を
会所として、澤田見氏を講師に
開催されること
となった。



△岡崎別院茶道教室△

△7月の水島宗葉師による茶道
教室△案内△
2日(土)10時△
3日(日)10時△
4日(月)10時△
9日(土)、10日(日)合宿
16日(土)10時△
24日(日)10時△

岡崎別院

庭園コンサート

△テラフェス二〇一一△
このたび左記の内容でコンサ
ーを実施いたします。
なお収益金の一部を東日本大
震災の義援金とさせていただきます。

日時：七月三十一日(日)
十三時開場
ゴイングアンダーグラウン
ドの他にも演奏を予定していま
す。

会費：二五〇〇円
ドリンクはソフトドリンク、
カクテル・ビール等をバーカウ
ンターで、軽食については軽食
カウンターで販売の予定。

なお詳細については、浄慶寺中
島(〇七〇 五六六三 九五六
九)までお問い合わせください。

△朝の法話△

7月25日(月)
午前6時45分～8時
真宗大谷派教学研究所所長
菘輪秀邦師

7月26日(火)
午前6時45分～8時
大谷大学教授
水島見一師

7月27日(水)
午前6時45分～8時
九州大谷短期大学名誉学長
古田和弘師

右記の日時にて実施いたし
ます。

なお当日はパンのご用意も
いたしておりますので、ぜひ
ご聴聞ください。



△宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌に念う△

△御遠忌後の今だからこそ△

このたび五月二十八日をもって宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌の法要(被災
者支援のつどい)と行事のすべてが終了し、早一か月が過ぎた。

東本願寺(本山)では、東日本震災の影響により、法要の内容や行事の
変更があったものの、全国より約五十万人のご門徒が参詣され、当院におい
ても約六千四百人のかたがたに御参詣をいただいた。

北は北海道(道北)から南は九州(鹿児島)まで、それぞれのお国なまり
を聞かせていただきながら、御参詣いただいたかたがたと会話ができたこと
は、私にとって貴重なご縁であった。

宗祖の御遠忌が終わった今だからこそ、ますます宗祖の歩まれた仏道に触
れていくことが求められているのではなからうか。今後、全国の各別院・寺
院・教会において宗祖に出会う法座が開かれるであろうが、それはけっして
物知りになつたりエリートになるための法座ではなく、愚禿と名告られた宗
祖の歩まれた仏道に帰ることにほかならないことではないか。

仏法聴聞をしながら他者との競争や比較という、真宗を学びながらもいつ
しか宗祖の仏道の歩みに背いている私の現実がある。

「昨日より今日、今日よりも明日」という「向上の心」で仏法を聞くので
はなく、「今日まで知らず知らず無自覚に踏みつけてきた自らの罪業に頭が
下がる」「向下の心」そのことこそが仏法聴聞であるのではないか。

宗祖は「よしあしの文字をもしらぬひとはみなノまことこのころなりける
をノ善悪の字しりがおほノおおそらノかたちなり」と述べ懐せられている
ように、聖典の文字理解をして自らの頭を喜ばせるのではなく、私自身が煩
悩の身として生きているその紛れもない事実にならずけるそのことこそが仏
法聴聞であると言われたように思う。

知っているつもり、宗祖の求道、聴聞しているつもり、仏法が、もう一度
根底から問われるのが御遠忌後の今であるように思えてならない。

<御遠忌・讃仰期間中に当院にご参詣されている様子>



梅香記

整備謝恩・職員歓送迎式典と披露宴を開催



式典

去る五月三十一日、当院の本堂に当院の役員・ご門徒・宗務役員・整備にご功労いただいたかたがたにお集まりいただき、山城第二組組長澄江寺住職の菅原信顕氏司会により、功労者九名に感謝状の授与が行われた。続いて職員の退職者と後任者からあいさつがあった。その後、参加者は整備のできた庭園を散策し、バスで披露宴会場のホテルへと移動した。

披露宴

披露宴は、山城第一組組長新道寺住職磯野淳氏の主催者あいさつ、来賓紹介、輪番の退職職員と後任者へのひと言、宗務所組織部部長禿信敬氏の来賓あいさつの後、大谷専修学院院長狐野秀存氏の乾杯の発声により、にぎにぎしく宴が催された。

参加者は六十六名、司会は式典に引き続き菅原氏が、受付・映像と音響などの作業は山城第一組、第二組のご住職にご協力を賜った。

披露宴の締めくくりでは、当院責任役員山城第二組圓重寺住職小山洋氏より整備御礼のあいさつでお開きとなった。

分陀利華

境内にある木々も雨の潤いを受け、青々と茂り寂静の森の様相を呈している。

しかしながら一方では雑草が目立ち始め、これからの雑草との格闘を予見せずにはいられない状況となっている。

私にとっては、雑草はいらないもの・邪魔もの・抜かねばならないものには見えぬ。

以前、ご門徒のおばあちゃんから「雑草を抜きながら、一生懸命生きようとしている雑草を邪魔者扱いにしかしてない自分。そんな自分に気付かされながらも、草引きをしなければならぬ我が計らい。我が都合の現実の中で、雑草を引きながら『ごめんね』というしかない自分がいる」といわれていたことを思い出した。

このおばあちゃんはもう亡くなられたが、年じゅう法衣をまとい、仏法を聞かせていただきながらも、仏法からいちはん遠い存在が私であることを、このおばあちゃんから知らせていただいている。

法座のご案内

三日講

毎月3日午後2時
「宗祖を訪ねて」

毎月13日午前9時半
「味読正信偈」(8月13日を除く)
引き続き「雑炊の集い」

毎月23日
「定例法座」

7月はお休みです。
8月 徳圓寺住職 細川成之師
9月 田口弘師

孟蘭盆会

8月13日(土)午前9時半
岸本恵師 敬圓寺住職

秋季彼岸会

9月23日(金)午前9時半
田口弘師 東京都坊主八一

別院往来

結婚式



四月二日

新郎 ヤンルガル様
新婦 東 美穂様



五月四日

新郎 仲田 圭吾様
新婦 鷲尾 玲奈様



五月八日

新郎 永井 宏介様
新婦 大艸 尚子様



五月二二日

新郎 奥 龍也様
新婦 本多 菜実様



五月二九日

新郎 藤井 秀人様
新婦 奥川 美樹様

清沢満之先生を

偲ぶ会

去る六月五日、立野義正氏・太田浩史氏の呼びかけにより清沢満之先生を偲ぶ会が開催されました。

児玉暁洋師・丸田善明師・名畑直日児師・水島見一師・梶原敬一師・簀輪秀邦師、六人の講師の講義があり、多くの参加者は熱心に聞法されました。



清沢満之先生を偲ぶ会 2011年6月5日 於 岡崎別院